



2011年度 第1四半期決算
Conference Call

2011年8月1日



塩野義製薬株式会社



将来見通しに関する注意事項

- 本資料において提供される情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。その情報は、現時点において入手可能な情報から予測した見込み、リスクを伴う想定、実質的に異なる結果を招き得る不確実性に基づくものです。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利や為替レートの変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
リスクや不確実性は、特に既存および開発中の製品に関連した見通し情報に存在します。それらには、臨床試験の完了ならびに中止、規制当局からの承認取得、製品の安全性ならびに効果に関するクレームや懸念の発生、技術の進歩、重大な訴訟における不利な判決、国内外各国の保健関連制度の改革や法規制などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。
また、既存製品に関しては、製造およびマーケティングのリスクがあり、需要を満たす能力を欠く状況、原材料の入手困難、他社との競合などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。
- 新しい情報、将来の出来事もしくはその他の事項より、見通し情報に更新もしくは改正が望ましい場合であっても、それを行う意図を有するものではなく、義務を負うものではありません。
- 本資料には、医薬品(開発中の製品を含む)に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。



2011年度 第1四半期決算の概要



経営成績（連結）

（単位：億円）

	2011年4-6月 実績	2010年4-6月 実績	対前年同期 UP率 (%)
売上高	637	752	△15.3
営業利益	114	79	43.7
経常利益	116	72	62.1
四半期純利益	37	48	△21.7

注：決算期の変更により、2010年4-6月実績は、米国子会社について、1-6月の6ヶ月分を計上



財政状態およびキャッシュ・フローの状況（連結）

（単位：億円）

< 財政状態 >	2011年6月 実績	2011年3月 実績	増減
総 資 産	5,025	5,232	△207
純 資 産	3,225	3,280	△55
自己資本比率	64.2%	62.7%	1.5%

（単位：億円）

< キャッシュ・フローの状況 >	2011年4-6月 実績	2010年4-6月 実績	増減
営業活動によるC / F	123	109	14
投資活動によるC / F	△48	△118	70
財務活動によるC / F	△72	△66	△6
計	△6	△86	80
現金等期末残高	1,100	889	-

2011年度 第1四半期決算



事業別・製品別売上高（連結）

（単位：億円）

	2011年		対上期 進捗率 (%)	2010年 4-6月実績	対前年同期	
	上期予測	4-6月実績			UP率 (%)	増減額
国内医療用医薬品	804	393	49.0	380	3.6	13
クレストール	176	83	47.4	66	27.4	17
イルベタン	48	21	44.2	16	31.0	5
サインバルタ	25	13	52.8	4	261.0	9
戦略3品目合計	249	118	47.3	85	38.1	33
オキシコンチン	51	22	43.5	25	△10.5	△3
フィニバックス	20	10	48.8	9	11.8	1
ディフェリン	19	8	42.4	6	27.0	2
ピレスパ	16	8	49.5	7	21.7	1
ラピアクタ	1	0	31.4	△0	-	0
戦略8品目合計	356	166	46.7	132	26.1	34
フロモックス	90	51	57.0	53	△3.9	△2
リンデロン等外用	45	24	52.7	25	△6.4	△1
クラリチン	35	18	50.4	16	8.3	2
フルマリン	33	17	52.9	18	△3.5	△1
輸出 / 海外子会社	158	43	27.2	171	△74.8	△128
シオノギINC.	102	25	25.4	152	△82.9	△127
ドリペネム	24	5	21.8	5	0.5	0
製造受託	26	16	64.5	10	74.9	6
一般用医薬品	25	12	50.8	14	△6.9	△2
診断薬	12	7	60.4	7	△2.5	△0
ロイヤリティー収入	340	159	46.8	164	△3.6	△5
クレストール	320	152	47.6	154	△0.8	△2
その他	10	4	46.3	6	△19.1	△2
合計	1,375	637	46.3	752	△15.3	△115

注：決算期の変更により、2010年4-6月実績は、米国子会社について、1-6月の6ヶ月分を計上

2011年度 第1四半期決算



損益計算書（連結）

（単位：億円）

	2011年度		対上期 進捗率 (%)	2010年 4-6月実績	対前年同期	
	上期予測	4-6月実績			UP率 (%)	増減額
売上高	1,375	637	46.3	752	△15.3	△115
（ロイヤリティー収入）	340	159	46.8	164	△3.6	△5
	27.3 (36.2)	28.3 (37.7)		27.7 (35.5)		
売上原価	375	180	48.1	208	△13.5	28
売上総利益	1,000	456	45.7	543	△16.0	△87
	54.9	53.7		61.7		
販売費・一般管理費	755	342	45.3	464	△26.3	△122
販売・管理費	470	211	45.0	333	△36.6	△122
研究開発費	285	130	45.8	130	0.3	0
営業利益	17.8 245	18.0 114	46.8	10.6 79	43.7	35
特別損益	-	L62	-	L21	-	-

注：決算期の変更により、2010年4-6月実績は、米国子会社について、1-6月の6ヶ月分を計上
（）内はロイヤリティー収入を除外した売上高に対する売上原価の割合



特別損益について

<特別損益> L62億円

- **特別利益** 3億円
 - 遊休不動産の売却

- **特別損失** 66億円
 - 投資有価証券評価損 27億円 上場株式の時価評価損
 - 減損損失 16億円 ADX415の開発中止
 - 東日本大震災による損失 10億円 非稼働期間の固定費および余震の影響
 - 違約金損失 9億円 シオノギ INC.における違約金
 - 事業構造改善費用 2億円 アトランタからNJへの統合に関する費用

注：記載数値は桁数未満を切り捨てたものですので、合計値が個々の数値の合計と一致しない場合があります。



シオノギ INC.の業績内容について

(単位:百万ドル)

	2011年		対上期 進捗率 (%)	2010年実績				
	上期予測	4-6月実績		2010年 1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	2011年 1-3月
売上高	128 (102億円)	31 (25億円)	24.7*	110 (101億円)	56 (51億円)	69 (58億円)	68 (56億円)	9 (4億円)
売上原価	16 (12億円)	6 (5億円)	40.7	18 (16億円)	23 (21億円)	15 (13億円)	12 (10億円)	10 (8億円)
販売費・ 一般管理費	122 (97億円)	43 (35億円)	35.3	76 (70億円)	83 (76億円)	54 (46億円)	55 (45億円)	44 (35億円)
営業利益	△10 (△8億円)	△17 (△14億円)	-	16 (15億円)	△51 (△46億円)	△1 (△0億円)	1 (1億円)	△46 (△39億円)

*:外貨ベースでの進捗率のため、円貨ベースでの進捗率と異なります。

<2011年4-6月実績の詳細>

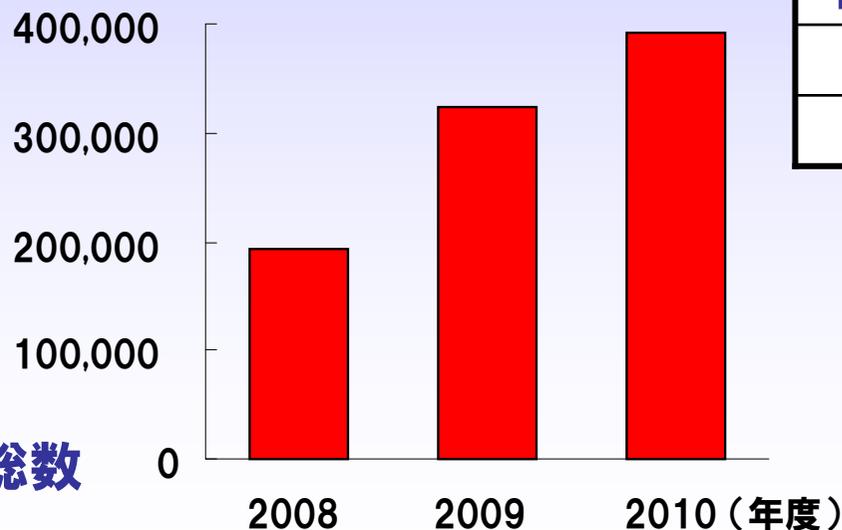
- 売上:新製品の目標未達、Sularを始めとする既存品のジェネリック参入に伴う減少
- 売上控除項目:期限切れ製品のリターンの増加
- 原価:売上の減少、売上控除項目の増加による原価率の上昇



Victory Pharma社からの製品導入について

- 製品:疼痛治療薬7品目、感染症治療薬2品目
- 導入元:Victory Pharma社
- 取得対価:118M\$ (追加マイルストーン最大9M\$)
- 販売活動
 - プロモーションはNAPRELAN、Rybix、Moxatagに注力
 - MRの増員は行わず、既存の販売基盤を最大限に活用

製品名	領域
NAPRELAN	疼痛
Rybix	
XODOL	
Fexmid	
Dolgic Plus	
Zebutal	
Magnacet	
Moxatag	感染症
Keflex	





シオノギ INC.の2011年度業績予測の修正について

(単位:百万ドル)

	上期 当初予測	上期 修正予測	当初予測 との差異	通期 当初予測	通期 修正予測	当初予測 との差異
売上高	128 (102億円)	91 (72億円)	△37 (△30億円)	280 (224億円)	260 (208億円)	△20 (△16億円)
売上原価	16 (12億円)	14 (11億円)	△2 (△1億円)	34 (27億円)	43 (34億円)	9 (7億円)
販売費・ 一般管理費	122 (97億円)	97 (77億円)	△25 (△20億円)	244 (195億円)	217 (174億円)	△27 (△21億円)
営業利益	△10 (△8億円)	△20 (△16億円)	△10 (△8億円)	1 (1億円)	0 (0億円)	△1 (△1億円)

<2011年度業績改善にむけた取り組み>

- 売上: Victory社からの導入製品の寄与に加え、Kapvay・Cuvposaを含むプロモーション品目の売上拡大、ジェネリック参入により影響を受けている品目はAuthorized Generic販売によりブランド薬の落ち込みを最小化
- 売上控除項目: 契約条件の見直しなどによる売上控除のコントロール
- 原価: CMOとの協業による原価率の改善(Victory社導入製品)
- 経費: シオノギアイルランド閉鎖による一般管理費の減少



業績予想の修正（連結）

（単位：億円）

< 上 期 >	当初予測	対前年同期 UP率 (%)	修正予測	対前年同期 UP率 (%)	当初予測 との差異
売 上 高	1,375	△4.1	1,345	△6.2	△30
営 業 利 益	245	27.4	245	27.4	-
経 常 利 益	235	32.8	235	32.8	-
四 半 期 純 利 益	155	125.9	155	125.9	-

< 通 期 >	予測	対前年 UP率 (%)
売 上 高	2,860	1.3
営 業 利 益	580	23.7
経 常 利 益	560	24.0
当 期 純 利 益	370	84.8

2011年度 第1四半期決算



業績予想の修正（事業別・製品別売上高）

（単位：億円）

	当初予測			修正予測			修正額		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
国内医療用医薬品	804	864	1,668	804	871	1,675	0	7	7
クレストール	176	194	370	176	194	370	-	-	-
イルベタン	48	57	105	48	57	105	-	-	-
サインバルタ	25	30	55	25	30	55	-	-	-
戦略3品目合計	249	281	530	249	281	530	-	-	-
オキシコンチン	51	54	105	51	54	105	-	-	-
フィニボックス	20	22	42	20	22	42	-	-	-
ディフェリン	19	22	41	19	22	41	-	-	-
ピレスパ	16	18	34	16	18	34	-	-	-
ラピアクタ	1	14	15	1	14	15	-	-	-
戦略8品目合計	356	411	767	356	411	767	-	-	-
フロモックス	90	100	190	90	100	190	-	-	-
リンデロン等外用	45	47	92	45	47	92	-	-	-
クラリチン	35	40	75	35	40	75	-	-	-
フルマリン	33	29	62	33	29	62	-	-	-
輸出/海外子会社	158	177	335	123	196	319	△35	19	△16
シオノギINC.	102	122	224	72	136	208	△30	14	△16
ドリペネム	24	26	50	19	31	50	△5	5	0
製造受託	26	33	59	31	37	68	5	4	9
一般用医薬品	25	26	51	25	26	51	-	-	-
診断薬	12	15	27	12	15	27	-	-	-
ロイヤリティー収入	340	360	700	340	360	700	-	-	-
クレストール	320	350	670	320	350	670	-	-	-
その他	10	10	20	10	10	20	-	-	-
合計	1,375	1,485	2,860	1,345	1,515	2,860	△30	30	0

パイプラインの状況

開発品の進展(2010年度本決算発表以降)

◆ Phaseの進展

- フィニバックス[®](カルバペネム系抗生物質、注射):
 - 細菌感染症(小児) 日本:申請準備中
 - 重症感染症(用法用量の追加)
日本:0.25gに加え、0.5g規格の追加
- S-297995(末梢性オピオイド受容体アンタゴニスト、経口):
オピオイド投与による消化管症状(嘔気・嘔吐、便秘)の緩和
 - 米国:Phase IIb
- S-555739(PGD2拮抗薬、経口):アレルギー性鼻炎
 - 米国:治験申請(IND)準備中
 - 日本:Phase IIb準備中

PGD2: Prostaglandin D2
IND: Investigational new drug

◆ 開発の中止

- ADX415(選択的 α 2受容体アゴニスト、経口):高血圧

S-349572(Dolutegravir:DTG):VIKING-3試験

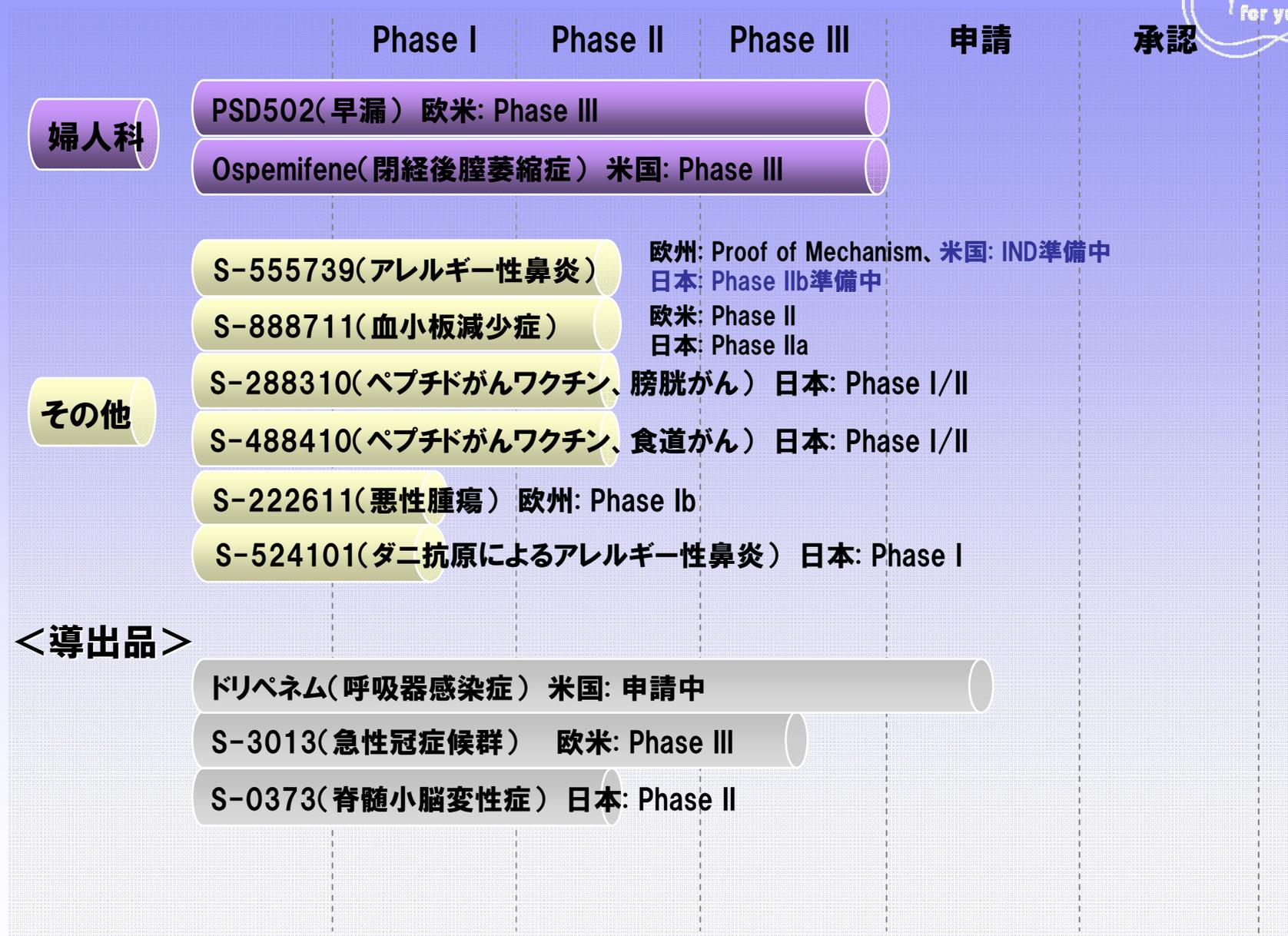
◆ VIKING-3試験概要

- SPRING-2、SAILING、SINGLEに次ぐ、4本目のPhase III試験（オープンラベル試験）
- 患者：
インテグラーゼ阻害薬を含む抗HIV薬に無効または耐性の患者 150名
- 試験デザイン：
 - 投与7日目まで:DTG 50 mg 1日2回+現状の併用薬
 - 8日目以降:DTG 50 mg 1日2回+最適化した併用薬
- 主要評価項目：
 - 投与開始8日の時点でのベースラインからのウイルス量の変化
 - 投与開始24週の時点でのウイルス量が50コピー/mL未満の患者の割合
 - 有害事象のあった患者数

パイプラインの状況（2011年8月時点）



パイプラインの状況（2011年8月時点）





End of File